

4月から7月は「健康づくりチャレンジ期間」です！

○問合せ先 健康ほけん課 ☎内線 129、168

～住民（集団）健診が6月から始まります!!～

住民（集団）健診は、各種がん検診、特定健診などを一度の受診で済ませることができる総合健診です。お忙しい人もご自分のために、大切な人のために1日だけ時間を空けてみませんか？申し込みを忘れていた人は、当日申し込みでも受診することができますので、この機会にぜひ健診を受診しましょう。

なお、午前中の健診は特に混雑が予想されますので、胃がん検診を受診されない人は、午後の受診をお勧めします。（日程や健診の内容などは松浦市のホームページでも公開しています。）

今年度新たに、40歳以上の人を対象に「胃がんリスク検診」を実施します！

胃がんリスク検診は、血液検査で、血清ヘリコバクター・ピロリ菌抗体、血清ペプシノゲン値を測定することで胃がんの発がんリスクを判定し、その結果に応じて胃がんの予防を図るといったものです。

ただし、過去に胃がんリスク検査を受けたことがある人、食道・胃・十二指腸の病気で経過観察中や治療中の人、過去にヘリコバクター・ピロリ菌の除菌治療を受けた人など、検査結果の適切な判定が困難な人については対象となりません。

受診料は、国民健康保険の特定健診または後期高齢者医療健康診査と同時に受診される場合は1,000円、それ以外の人は2,000円です。

胃がんリスク検診はあくまで「胃の健康度」を確かめるために行うもので胃がん検診の代わりになるものではありませんので、胃がん検診も定期的に受診しましょう。

今年もCOPD（慢性閉塞性肺疾患）検診を実施します！

～あなたの肺は健康ですか？～

「たばこ病」「肺の生活習慣病」と言われるCOPD（慢性閉塞性肺疾患）。まずは、ご自分の肺の健康度を知るために、「肺年齢」を測定してみませんか？

《日時》6月26日（日）、7月3日（日）

午前9時～午後3時30分

《場所》松浦市文化会館（小ホール）

《受診料》無料 《予約》不要 《検査時間》30分程度

《実施機関》長崎大学

わたしたちの郷土

122
巻



中世の松浦（88） 鷹島海底遺跡 ～海底での元寇船の保存～

現在、鷹島沿岸からは、「鷹島1号沈没船」と「鷹島2号沈没船」の2隻の元寇船が確認されています。これらの船は、発掘終了後、実測図の作成と映像記録を行った後に現地で埋戻しを行い保存しています。仮に船を引き揚げて保存することになった場合には、長期間にわたって保存処理を行う設備・機器、保存処理が終わった後に適切に管理する保管・展示施設が必要です。しかしながら、松浦市立鷹島埋蔵文化財センターの現状の設備では対応することができないため、当分の間は、海底で保存することになっています。

海底で船を保存するにあたって最も影響があるのはフナクイムシです。フナクイムシは、「ムシ」を想像されるかもしれませんが、実は二枚貝の一種で、海中の木材を食べて穴をあけてしまいます。食害によって穴があいた木材は、強度を失い、最後は消滅してしまいます。そこで、このフナクイムシの活動を押さえるための対策として、「鷹島1号沈没船」では、銅が海水と反応すると殺菌作用のある銅イオンを発生し、これをフナクイムシが嫌う性質を利用して、船体に銅製の網を重ね敷きし、砂を入れた土のう袋で押さえて保全しています。

一方、昨年調査を行った「鷹島2号沈没船」は、オーストラリアでの例を参考に、酸素を絶ちフナクイムシが生存できない環境にすることとしました。砂を入れた土嚢袋を厚さ約50センチに設置し、その上に本市に所在する中興化成工業（株）で製造されたシート「シリコーンファブリック」で覆い保全しています。

年に2〜3回、定期的に沈没船の海底での保全状況を調査するモニタリングを行っています。海底に設置した水温計、溶存酸素濃度計、照度計などでデータを収集しています。国内でも、長期に渡って沈没船の経過を観察した事例は、ほとんどありません。松浦市は、水中考古学の先進地として、海底での沈没船の保存に対する資料・情報を収集することも、重要な役割を担っています。



▲フナクイムシの食害を受けた木材

Golden Days! — 黄金の日々 —



ブレンダン・ピアス
Brendan Pierce
アメリカ出身

こんにちは!
外国語指導
助手です。



「ゴールデンウィーク」は過ぎ去ってしまい、学校では生徒たちが部活や勉強、食べることや釣り(?)など、いろいろなことに忙しくなりました。「ゴールデンウィーク」は終わってしまいましたが、来月には夏休みがやってきますね。そこで今回は、アメリカの生徒たちがどのように夏休みを過ごすか紹介しましょう。

日本の夏休みは6週間ですが、アメリカでは約3カ月間です。きっと皆さんは長すぎると思うでしょう。私もそう思います!しかし、この3カ月間、何もしないというわけではありません。日本の多くの中学生が夏休みに、部活動をしたり、家族旅行をしたり、塾に通ったりするように、アメリカの生徒たちも「サマースクール」に参加して、勉強したり、スポーツをしたりします。旅行シーズンでもあるので、アメリカのハ

イスクールの生徒たちは、アルバイトやインターンシップを経験します。この経験は大学進学にも役立ちます。結果として、夏休みは学校を超えて社会とつながり、学びを広げるチャンスとなります。これはアメリカの大学が重要視する部分なのです。

日本とアメリカの生徒たちの夏休みの過ごし方は、似ているところもあり、違うところもあります。どちらも生徒たちの成功のカギを握っていると



▲ 高校生の時の私 (ブレンダン) です!



図書館の
おすすめ

BOOK
本

市立図書館
☎ 0956-72-4677



松浦市ホームページで
「松浦市立図書館」を検索



『いぬとわたしの防災ハンドブック』
いぬの防災を考える会/著 PARCO出版

地震や台風、洪水・・・自然災害はいつどこで起きるのかわかりません。災害時に大切な犬の命を守るのには飼い主のあなたです。いざというときの心構えや避難グッズなどの備えを平時の今こそ考えましょう。



『大研究 歌舞伎と文楽の図鑑』
国土社編集部/編 国土社

日本を代表する芝居、歌舞伎と文楽。あなたは観たことがありますか?訪日外国人が増加し、改めて日本の伝統芸能が注目されています。歌舞伎と文楽、それぞれの登場人物やストーリー、表現、歴史などをわかりやすく紹介しています。

◆◆◆あかちゃん・子どものお気に入り!◆◆◆

このコーナーでは図書館に来てくれたあかちゃんや子どもたちのお気に入りの一冊を紹介します



きりたん ふうづき
切建美月ちゃん(1歳9カ月)と煌陽くん(1歳9カ月)

【お気に入りの本】

『いないいないばあ』松谷みよ子/著 瀬川康男/絵 童心社

『だるまさんが』かがくいひろし/作 ブロンズ新社

【お母さんからひとこと】

本が身近なものであってほしいと思い図書館をよく利用しています。「だるまさんが」や「いないいないばあ」では、絵本と同じポーズをとったり指さしをして教えてくれたり、自分でめくって眺めたりして、いろいろな反応を見せてくれます。本を通して成長を感じています。おはなしの部屋でたくさん本をみて楽しく過ごすこともあり、お気に入りの本が増えたらうれしいです。これから親子でいろいろな本に出会いたいと思います。

※図書館ではお母さんとあかちゃんの来館もお待ちしています!